

# 点検ハンマー

第1号 発行日 2012年 4月14日 発 責 石尾 光春・編 集 地本車技常任委員会

## 第14回車両技術分科会

### 定期総会成功裏に終わる!

#### スローガン

「反原発・反リニア」の闘いを、職場から地域から推し進めよう!  
「命令と服従」「規律と忠誠心」に抗し、安全と健康を守るため職場から闘おう!  
「組織強化拡大」に向け、職場の全ての仲間から信頼される分科会運動を創ろう!

わたしたち車両技術分科会は、4月8日（日）品川第一区民集会所において、第14回定期総会を開催しました。

司会は鎌田副会長、座長には修繕車両所の佐藤さんを選出し議事を進めていきました。

#### 石尾会長挨拶

- ・ 3月29日JR東海の設備投資計画が発表されました。総額3480億円に対しリニア推進に1050億円、総額の3分の1である。職場の要求事項が何ら解決されないのがわかる。JR東海の「リニア建設」は何を意味するのか、皆で議論していこう
- ・ JR北海道のトンネル内火災事故、中国版新幹線事故、7年前の福知山線の事故、この三つの事故で共通しているのは、事故自体の責任で誰も「逮捕」されていない。「無罪」である。
- ・ ヒューマンエラーが叫ばれているが、何をもってヒューマンエラーなのか規定性がハッキリしていない。
- ・ 構内操縦での「ビデオ撮影」や若手社員へのプライベートまで入り込んだ面談、事情聴取会社に反抗しない意識の植え付けを狙っている。



## 来賓挨拶

新幹線地本成田委員長

- ・ リニア建設の問題点は様々なところから出ている、川崎では地下に沢山の穴があげられる。
- ・ リニアと原発は切っても切り離せない問題、電源供給を原発に頼っている。
- ・ 職場の問題や会社の外注化施策等シッカリと見ていこう。

本部車両技術分科会松木会長（メッセージ）

- ・ 修繕班で差別的なあつかいを受けている。日勤のみ、作業があっても超勤はさせない、検査担当（確認者）にはさせない等々… 会社の対応は「差別はない、問題はない、超勤については必要な人だけ残している、確認者にしないのは技術がないと判断している」これを差別と言わず何を差別と言うのか。修繕班で、東海労は自分ひとりだが「会社の理不尽と」これからも闘っていく。

会員からの意見（要旨）

- ・ 第一仕業は若手社員が多いが、見習いを終了して間もない社員に見習いをつけている。見習いに見習いをつけているようなものである。
- ・ ヒューマンエラーゼロ活動が始まってから、チョットしたミスに対して会社管理者の対応がエスカレートしてきている。交検ではミスすると始業点呼で言われる。
- ・ 年休の問題、特に仕業で入らない、多くの組合員が流されている。何処に原因があるのか調査活動が必要である。
- ・ 仕業d担当がSEK若手主体となった。技術力の問題も出てきている。（交検では上回りのみでキンパク作業をやっていない）
- ・ 修繕班での差別的扱いに抗議してきた。会社の対応は全くふざけたものである。主任に「確認者」をさせないで車両係にさせている。車両係を技術係に昇進させるべきである。
- ・ 交検では「〇〇賞、△△賞、□□賞」など、いろんな賞を作って社員管理に活用している。
- ・ 8月にN700Aが導入される。外注化との関係はどうか、見ていく必要がある。
- ・ 構内操縦での「ビデオ撮影」は、何が目的なのか、議論していこう。
- ・ 「安全チョッキ」の着用、定義がハッキリしていない。構内操縦で「添乗する管理者」は着用の必要はないと言っている。
- ・ 60歳を前にして4名の組合員が出向、組織破壊攻撃である。会社は54歳原則出向は生きていると言っている。

答弁として

昨年は車両技術分科会として十分な活動が出来ませんでした。今年度は気持ちを新たに職場問題に取り組んでいきます。

最後に石尾会長の団結ガンバローで、第14回定期総会を終了しました。

新役員体制です。一年間よろしくお願いします。

会 長	石尾 光春	修繕車両所
副会長	秋田 齊	交検車両所
副会長	鎌田 孝一	修繕車両所
事務長	布施 喜一	仕業車両所
常任委員	土屋 浩一	三島車両所